

栃高連P連(五十四回) PTAスクール

神澤 敦子

十月二十三日(二十四日の二日間に渡り、栃木県高等学校PTA連合会主催、PTAスクールが日光市において開催されました。

南高校は研究協議の発表校となり、教員三名、PTA七名で参加しました。

第一日目は、文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域・学校支援推進室長の鍋島豊氏が「二〇二〇年に向けた学びとスポーツ」と題して、講演を行なっていました。

全国高P連大会

福井大会

関口 日出夫

八月二十一日(二十三日の三日間に渡り、第六四回全国高等学校PTA連合会大会福井大会が行われました。メインテーマは「教育と考福」サブテーマは「未来に引き継ぐ知と恵み」でした。

基調講演は「今求められる考福脳」と題し、茂木健一郎先生の講演でした。私たちは、第二分科会(進路とPTA)に出席し、全国から四校の発表を拝聴してきました。PTAの役割は、保護者の不安を学校に橋渡ししたり、子どもの成長を手助けできる活動である事を再認識しました。

オリンピック二〇二〇年東京大会の概要に始まり、政府の教育再生会議のこれまでの提言とそれを受けた取り組みや高等学校教育の改革等説明されました。

第二日目は、先ず学悠館高校が「保護者と地域がかかわる生徒指導」と題して研究協議の発表がありました。続いて南高校がパワーポイントを使って教頭先生が学校概要を説明され、続いて、「PTA活動を通し家庭ととの相互理解を育てる」と題して参加したPTA全員がそれぞれ発表をしました。とても有意義な二日間になりました。

関東高P連大会

群馬大会

石井 宮子

七月四日全体会をぐんまアリーナにて発表、講演会「残したい伝えたい日本の歌」の演題で安田祥子さん、歌ったり体を動かしたりして、音楽の素晴らしさを感じさせて頂きました。

五日はグループに分かれての発表があり、二日間他校の皆さんの活動の発表の中で、良い習慣は大変でも続ければ良い結果に結びつく。親子の理解の大切さ、しつけの強化など、何かで押さえ込むのではなく、理解して、根気強く教える大切さを再確認させていただきました。

私達も他校の方々と同じように、活動の素晴らしさ、子どもと共に充実した役員生活を皆さんにお伝えして行きたいと思えます。

PTA交通街頭指導

生活指導部 鈴木 恵美子



息子が入学して三年、私の生活指導部のさわやか活動も三年目となりました。今年度前半のさわやか活動は、皆様の御協力のもと無事終了する事ができ感謝しております。

残念ながら宇南生の自転車の交通マナーは良いとは言えません。一般の方々からの苦情も寄せられているとの話も耳にします。そのたび先生方も交通指導に立たれています。

事故にあつてからの取り返しはつきません。生徒には交通ルールをしっかり守り自転車に乗ってもらいたいものです。私達生活指導部は、これからも生徒の安全の為、交通街頭指導にあたつていきたいと思っております。

PTA研修会

研修部 地崎 和代

十月十八日、講師の館下規生先生をお招きして、とんぼ玉制作を行いました。

とんぼ玉は穴の開いたガラス玉の事で、模様のついたガラス玉をトンボの複眼に見立てたため「とんぼ玉」と呼ばれたと言われています。

とんぼ玉の作り方は、ガスバーナーでガラスを溶かして、模様や形の成形など全部の工程をひとつひとつ人の手で作りまします。ですので、一人一人違う作品が出来ると、何回制作しても同じ作品が作れない面白さがあります。帯留・ブレスレット・かんざしなど応用もできますが、今回は直径約1.5cmほどの丸いとんぼ玉を二個作成して、ネックレスやストラップにしました。

参加者が多かったにもかかわらず、怪我もなく、時間内に終了する事が出来て安心いたしました。作品がおしゃれなので、普段身に付けられる喜びがあり、思い出に残る時間を過ごさせていただきました。

まだ研修会に参加されていない保護者の皆様、来年も楽しい企画を考えますので、是非ご参加お待ちしております。



9校球技大会

厚生部 押久保 美江



梅雨が明けきらない七月六日、雀宮中学校にて「雀宮地区PTA連絡協議会球技大会」が開催されました。

梅雨明け後、応援していた私たち厚生部員も手に汗握る場面がたくさんありました。残念ながら優勝決定戦に進むことはできませんでしたが、とても有意義な一日を共有できて嬉しかったです。選手の皆様、ご協力本当にありがとうございます。

来年はこのようなトラブルがないよう厚生部として対応していきますので、PTAの皆様のご参加ご協力をお願いします。